筑波大学
University of Tsukuba

情報学群 知識情報・図書館学類

College of Knowledge and Library Sciences
School of Informatics

2026

つなぐ―知識、情報、人。

予測困難な時代、知識の力で切り拓け

情報技術が発展し、我々は様々な知識や情報を容易に入手できるようになりました。一方で、社会は多様化・複雑化し、将来を見通すのはますます困難になっています。この社会状況において、理系だけ、あるいは文系だけの知識で問題解決を図るのはもはや困難であり、文理の枠を超えた知識の横断的活用が必要不可欠です。

このような時代を見据えて、知識情報・図書館学類では、かねてから文理融合型の教育研究を推進して参りました。本学類では、知識、情報、人をつないで新たな知を創出し、広い視野をもって問題を解決できる人材を養成します。意欲ある皆様のご参画を心から歓迎いたします。

知識情報・図書館学類長
鈴木 伸崇
Nobutaka Suzuki

Topics and numbers

トピックと数字でみる 知識情報・図書館学類

筑波大学では幅広いスキルを獲得するための科目群を修得することで得られる「汎用智」と高度な専門知識を獲得することで得られる「専門智」をバランスよく学ぶことで、これらの知識が一体となった「総合智」を修得することを教育の要としています。本学類の専門基礎科目と専門科目は、「専門智」を構成する科目群です。また本学類の学びは理論から実践におよぶ多様な要素から構成されていることから、筑波大学の特徴である総合智教育と親和性の高いカリキュラムとなっています。

数字でみる筑波大学

2024 年度在学者数

9,634 名

総合大学ならではの日本屈指の規模

学生の出身地

47 都道府県

学生は全国から

留学生の受け入れ

100 を超える国・地域

さまざまな国と地域からの留学生

図書館数

5 館

蔵書数

275 万冊

図書館情報学に関する図書館も

海外オフィス

12 ヶ国・地域 13 拠点

「国際性」は筑波大学の柱の一つ

数字でみる知識情報・図書館学類

教員：学生

1：3

教員１人当たりの卒業研究指導学生数は平均３人と
細やかな少人数教育

学生男女比

3：2

情報学分野では珍しい比率

国際インターンシップ

5 ヶ国・地域

たくさんの学生が異文化を経験

総合学域群からの受入定員

40 名

学内１位の間口の広さ

駅から徒歩

10 分

首都圏から通学１時間以内

創設

1921 年

歴史は文部省図書館員教習所から

Learning

知識情報・図書館学類の学び

情報技術が社会に浸透し、人類は知識や情報を容易に伝達、取得、利用できるようになりました。現代社会において、知識や情報は、それを理解し利用する人間、共有の基盤を支える情報技術、存在する場としての社会が密接に関わり合っており、これらの視点なくして知識や情報を正しく理解することは困難です。

このような時代を見据えて、知識情報・図書館学類は、知識科学、知識情報システム、情報資源経営の３主専攻を設け、文理融合型の教育を展開しています。それぞれ「人間」、「情報技術」、「社会」の観点から知識や情報についての学びを深め、３主専攻が協力し知識や情報を多面的な視点から捉えられる人材を育成します。

読書レビューアプリ・BOOK MARRYの導入

知識情報・図書館学類では、学類の特徴を活かして、読書を介したコミュニケーションの活性化、日本語および英語の読解力向上、豊かな文章能力の涵養に取り組んでいます。

この取り組みは、知識情報・図書館学類に所属する全ての学生、教員が参加する読書レビューアプリ・BOOK MARRYにて行われます。BOOK MARRYの導入にあたっては、テスト導入を行い、座談会等を通じてアプリの効果やユーザビリティを検証し、開発元へフィードバックするなど、学生と教員、開発元の協働によってブラッシュアップを行いました。読書を通じた取り組みで、さらには学生と教員が切磋琢磨するという、知識情報・図書館学類らしさを体現したユニークな試みです。

主専攻で何を学ぶのか？

■知識科学主専攻

人 間

知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出・表現・探索、思考法に関する理論と応用

■知識情報システム主専攻

情報技術

知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用

■情報資源経営主専攻

社 会

知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネージメントに関する理論と応用

カリキュラム

1年次は豊かな教養と広い視野を身につけ、基礎的な知識や技術を習得し、2年次は1年次の学びを段階的に深めます。3年次では主専攻のいずれかに属して、自主専攻の科目により専門性を高めると共に、他主専攻の科目により幅広い学びを継続します。3年次秋学期には研究室に所属し、4年次に指導教員のもと卒業論文を執筆します。

4年
3年
2年
1年

専門科目（主専攻科目）
各主専攻の専門領域に関する科目

知識科学主専攻
知識論、ソーシャルメディア分析、テクニカルコミュニケーションなど

知識情報システム主専攻
情報検索システム、データ構造とアルゴリズム、ディジタルライブラリなど

情報資源経営主専攻
アーカイブズ管理、情報サービス経営論、学校図書館論、情報法など

専門科目（共通）

専門英語、インターンシップ、国際インターンシップ、ビジネスシステムデザイン、体験型システム開発など

専門基礎科目

知識情報概論、哲学といった導入科目や情報社会と法制度、プログラミング入門、情報数学、統計、機械学習、専門英語、情報行動論、知識資源組織化論、テクスト解釈などの専門領域の基礎となる科目

基礎科目

豊かな教養と広い視野を身につける科目（総合科目、外国語、情報リテラシー、データサイエンス、体育、他の共通科目、関連科目など）

取得できる資格

知識情報・図書館学類では、司書、司書教諭、教育職員免許の資格が取得できます。司書資格に必要な科目は学類の科目を学ぶ過程で無理なく修得できます。教育職員免許と併せて、指定の科目を修得することで、司書教諭を取得することができます。

▶取得できる資格の一例

- 司書
- 司書教諭
- 中学校教諭一種免許状（社会・数学）
- 高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）

Faculty members

教員紹介

知識科学主専攻

于 海涛
- 機械学習
- 情報検索
- 知識グラフ･情報知能

上保 秀夫
- 人間情報インタラクション
- ユーザ研究実験法
- 情報検索システム

辻 慶太
- シソーラスの自動構築
- レファレンスサービス
- 図書推薦システム

寺地 美奈子
- メディア社会学
- メディア技術史
- 映像文化論

照山 絢子
- 文化人類学
- 医療人類学
- コミュニケーション学

真榮城 哲也
- 生命現象の解明
- さまざまなモノの関係性
- 専門知識の利用

松永 瑠成
- 出版文化史
- 貸本文化史
- 書誌学

松林 麻実子
- 情報行動
- メディア分析
- コミュニケーション

松原 正樹
- 身体知／暗黙知
- 認知科学
- 感性情報学
- 表現芸術療法

叶 少瑜
- メディア
- ソーシャルサポート
- 精神的健康
- 対人関係

横山 幹子
- 知識の確実性
- 知識の共有
- 言語と思考

芳鐘 冬樹
- 研究者の生産性
- 研究協力ネットワーク
- 計量書誌学

歳森 敦（協力教員）
- 選択行動モデル
- 選好意識の解明
- 地域施設計画

知識情報システム主専攻

伊藤 寛祥
- 機械学習
- ソーシャルネットワーク分析
- ヒューマンコンピューテーション

宇陀 則彦
- デジタルヒューマニティーズ
- プロジェクション本棚
- 知識情報学

大澤 文人
- 教育におけるマルチメディアの活用
- 教育におけるコンピュータの活用

加藤 誠
- 情報検索
- Webマイニング
- オープンデータ

金 宣経
- ヒューマンロボット／コンピュータインタラクション
- コミュニケーション支援
- 認知科学

阪口 哲男
- Linked Data に関わる開発支援
- クラウドソーシング基盤技術と応用
- 情報共有･伝達の技術基盤開発

鈴木 伸崇
- データベース
- データ工学
- アルゴリズム

関 洋平
- 情報アクセス
- 自然言語処理
- コミュニケーション支援

高久 雅生
- 情報組織化
- 電子図書館
- 情報行動
- 情報検索

時井 真紀
- 情報表現
- 計算物理
- 計算機シミュレーション

永井 正勝
- 博物館情報学
- 言語資料のコーパス化と利活用
- 古代オリエントの言語と文字

松村 敦
- 読み聞かせと絵本推薦
- 情報探索･情報検索･情報推薦
- Web情報システム

山本 修平
- 行動モデリング
- マルチモーダルデータ分析
- 機械学習

落合 陽一（協力教員）
- HCI
- VR
- CG

森嶋 厚行（協力教員）
- データ工学／ビッグデータ
- 集合知／クラウドソーシング
- ソフトウェア工学

森継 修一（協力教員）
- 数式処理のアルゴリズム
- 計算幾何学
- 和算研究への応用

李 昇姫（協力教員）
- 感性情報
- 認知行動
- Physical Interaction

知識情報・図書館学類の専門教育の内容は、知識科学、知識情報システム、情報資源経営の三つの主専攻に集約されています。知識科学主専攻は「人間」、知識情報システム主専攻は「情報技術」、情報資源経営主専攻は「社会」と、主専攻ごとに設定したキーワードに基づき幅広い視野を養います。専門領域の内容に即した、人間、情報技術、社会の結合と相互の役割を理解するための科目を展開し、知識情報のスペシャリストを育成します。

情報資源経営主専攻

池内 淳
- 公共図書館政策
- 図書館評価

大庭 一郎
- 情報サービス（レファレンスサービス）
- 公共図書館
- 図書館職員

小野 永貴
- 学校図書館
- 学習情報資源
- 情報教育

小泉 公乃
- 図書館経営
- パブリックガバナンス
- 公共圏

白井 哲哉
- アーカイブズ学
- 図書館地域資料
- 災害アーカイブ

鈴木 佳苗
- 読書･学習環境（学校図書館など）の整備と活用
- メディア利用の影響
- メディア教育

髙良 幸哉
- 情報法
- 情報保護法制
- 情報刑法

武田 将季
- 超高齢社会サービス
- ユニバーサルサービス
- 情報リテラシー

西川 開
- 知識コモンズ
- 制度分析
- 科学計量学

原 淳之
- ヨーロッパの図書館
- 図書館文化史
- 図書館の国際比較

BARYSHEV EDUARD
- アーカイブズ学
- 国際関係史
- 比較社会学

村井 麻衣子
- 知的財産法
- 著作権法
- 著作権の制限規定

村田 光司
- アーカイブズ学
- 記憶情報の伝達と管理
- 西洋前近代史

吉田 右子
- 公共図書館論
- 公共図書館サービス
- 公共図書館史

呑海 沙織（協力教員）
- 超高齢社会における図書館と認知症支援
- 知識情報基盤
- 図書館文化史

卒業研究について

知識情報・図書館学類では、3年次の秋学期に研究室配属を行います。研究室に配属された後、指導教員やゼミ生とのディスカッション、文献調査などを通じて研究テーマを決定し、約1年間に渡ってそのテーマに取り組みます。まとまった大きさの思索の展開や調査分析、研究開発などを通じて、問題の構想力、解決力と創造性を養うことができます。以下は卒業研究の題目の一例です：

知識科学主専攻

- 山小屋で働く人々の文化 ―白馬山荘でのフィールドワークから―
- 若年層のソーシャルメディア利用における不寛容の実態の研究
- 生きづらい人のためのシェアハウスに関する研究
- 化粧水クチコミにおける内外的要因が読み手の評価に与える影響

知識情報システム主専攻

- 感情の可視化および感情認識に関する研究
- 数値条件を含むクエリに対する密検索モデルの性能評価
- Efficient Human + AI Crowd Task Assignment with AI Worker Filters
- 他者比較を通じて客観的な自己分析へと導くランニング支援システムの構築

情報資源経営主専攻

- 害意のある情報に対する学習プログラムの開発と評価
- ローマ皇帝ティベリウスの日本における記憶：江戸時代から明治時代まで
- 毎日新聞社の「読書世論調査」と「学校読書調査」
- 公共図書館における新型コロナワクチンに関する書籍の所蔵調査

卒業研究の題目と抄録を学類Webサイトで公開していますので、ぜひご覧ください。

Learning facilities

学修施設紹介

知識情報・図書館学類では、下記に加えて講堂、実習室、無人コンビニ、食堂、ラウンジなど、様々な施設を利用することができます。

FACILITY 01

図書館情報学図書館

図書館学や情報学の資料に加えて、その他の分野の図書、新聞や雑誌、幅広い分野の教養図書、英語教材などを揃えています。学期中は平日８時半から22時まで開館し、パソコンやWi-Fiもあり、個人やグループでの学修を支援しています。

FACILITY 02

ビブリオバトルスタジオ

大型モニターやタイマー、ブックスタンドが常備され、ビブリオバトルの練習やイベントを手軽に行える空間です。撮影用照明や自動追尾カメラも設置しており、映像の収録やライブ配信も可能です。

FACILITY 03

ウェルビーイングルーム

静謐な空間で身も心もゆるませ一人の時間を過ごせます。内省を通じて「今、ここ」に生じる自身の感情や感覚に注意を向け自己理解を深めます。

FACILITY 04

メディアミュージアム

情報メディアユニオン１階にあり、貴重書庫の資料や教員所蔵の資料などを展示します。常設展のほか、研究室と共催の特別展の開催もあります。

FACILITY 05

春日ラーニングコモンズ（KLC）

全学計算機やプリンタを利用したり、グループ学習や発表の練習などを行う共有スペースです。上級生チューターに学修について質問できます。

Learning abroad

海外での学び

海外の大学や図書館、情報センターでの学びを実現するために、国際インターンシップやピッツバーグ大学との共同教育プログラムを実施しています。

国際インターンシップ

筑波大学は知識情報学の国際的研究教育拠点であり、世界的な交流が行われています。その交流関係を活かして、2009年度よりカナダ、アメリカ、ドイツ、中国、韓国、台湾における様々な図書館や情報センターと連携した「国際インターンシップ」を開講しています。受講者は研修先に10日間ほど滞在し、相手国の図書館や情報センターの業務を見学・実習することで、国際感覚やコミュニケーション能力を高め、国際的な視野を養います。最近の研修先と受講者数は表を参照してください。また、ピッツバーグ大学や釜山大学など、海外の学生が筑波大学を訪問した際には、講義や見学をとおして、日本の図書館や関連機関について学ぶ機会も提供しています。

参加者の声

今井 爽季 Saki Imai

情報資源経営主専攻 4年次
群馬県立前橋女子高等学校出身

インターンシップ先
ルール大学ボーフム（ドイツ）

研修先のドイツでは、日本について様々な視点から質問されることで、自国のことを自分の言葉で話す重要性に気づきました。数週間ですが言葉の通じない国で一人で過ごしたという自信と行動力、やる気を得ることができました。

澤木 明 Mei Sawaki

情報資源経営主専攻 3年次
埼玉県立所沢高等学校出身

インターンシップ先
釜山大学（韓国）

本学類志望理由のひとつが国際インターンシップでした。ネットや文献だけでは得られない、現地の図書館や博物館、書店、大学の方々との交流や生の声を聞けたのは、韓国の図書館、ひいては日本の図書館についての得がたい学びでした。

図書館情報学3/4+2 共同教育プログラム

米国ペンシルベニア州のピッツバーグ大学大学院計算情報研究科（School of Computing and Information）との共同プログラムです。学類を3年で早期卒業し、同研究科図書館情報学プログラム（修士）に進学できます。通常の4年卒業でも進学可能です。参加条件はGPA 3.25 以上、TOEFL iBT 80点（あるいはIELTS 6.5点、Duolingo English Test 110点）以上です。対象者は受験する際、GREが免除されます。ピッツバーグ大学はQS大学ランキングの図書館情報学分野で全米10位の有名校です（2024年3月時点）。

国際インターンシップで学類生が訪れたシュトゥットガルト市立図書館（ドイツ）

【国際インターンシップ受講者数（2015～2024年度実績）】

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2023年度	2024年度
アメリカ（ハワイ大学、ミシガン大学、ピッツバーグ大学）	1	1	1	1	–	–	–
中国（上海図書館）	–	2	–	–	–	–	–
韓国（釜山大学）	2	1	–	–	–	3	3
ドイツ（シュトゥットガルトメディア大学、ルール大学ボーフム）	–	–	2	2	3	1	1
台湾（台湾師範大学）	–	–	–	–	2	–	–

※新型コロナウイルス感染症のため、2020～2022年度は実施せず

Students' interview

在学生インタビュー

郭 炫麟 Guo Xuanlin

２年次　中国・鄭州市　河南省実験中学出身

本学類は知識と技術の融合が進む未来を拓く場であり、柔軟な思考が重要です。自分の興味を追求し、多様な経験を積むことで将来の可能性が広がると考えています。

Q&A

Q・留学先に筑波大学を選んだのはなぜですか。

A・筑波大学には情報技術分野でのリーダーシップを持つ知識情報・図書館学類があり、研究機会や文理融合の先進的な教育体系が魅力だったからです。

榎本 陽子 Yoko Emoto

２年次　北海道札幌手稲高等学校出身

オープンキャンパス等を通じて「図書館学を学びたい！」と強く思うようになりました。著作権などの法律の学びにも興味をもっています。将来は編集者か広告業に就くのが目標です。

Q&A

Q・総合学域群からの移行で苦労したことは。

A・もともと大学数学に苦手意識があり、総合学域群から移行後に必須科目になった統計には苦労しましたが、数学やプログラミングに強い仲間にとても助けてもらっています。

小川 真由 Mayu Ogawa

情報資源経営主専攻　４年次　横浜市立金沢高等学校出身

図書館員を目指すなかで、図書館の社会における役割やこれから図書館には何ができるのか、といった考えを深めたいと思っています。頼れる仲間やチューターさんが多いので心強いです。

Q&A

Q・本学類に編入したきっかけはなんですか。

A・以前通っていた大学での図書館情報学の学びをより深めたく、「大学において修得すべき図書館に関する科目」が多く開設されているところに惹かれました。

西野 結子 Yuiko Nishino

知識科学主専攻　３年次　青森県立弘前高等学校出身

幅広い分野の授業を受けられることが魅力。図書館や本は勿論、インターネットも普段の会話も、情報があれば何でも研究対象になります。知るほどに世界が広く、面白く見えてきますよ。

Q＆A

Q・知識科学主専攻を選んだ理由を教えてください。

A・元来いろいろなことに興味があったのですが、自分が特定の分野の研究を究めるのではなく、「知識」や「学問」そのものに興味があるということに気づいたことが大きいです。

西尾 朋哉 Tomoya Nishio

知識情報システム主専攻　４年次　茨城県立土浦第一高等学校出身

機械学習や情報検索といった情報技術を学べる点が自分にマッチしています。広い選択肢を持つことが可能な学類なので、まだやりたいことが定まっていない人にも適していると思いますよ。

Q＆A

Q・知識情報システム主専攻の特徴は何ですか。

A・情報技術に限らず、文理融合で幅広い分野を「情報」という観点から学ぶことができます。科目選択も自由度が高く、自分の興味に合わせて履修できるのも利点です。

富澤 萌花 Moeka Tomizawa

情報資源経営主専攻　３年次　群馬県立中央中等教育学校出身

読書好きという文系的な面と、理系的な思考の両面を持っている自分にとって、文理融合を掲げる本学類は最適でした。将来は大学院進学や研究図書館就職などを選択肢として考えています。

Q＆A

Q・情報資源経営主専攻では主に何を学びますか。

A・哲学から知識について勉強する授業もあれば、検索エンジンの仕組みやプログラミングについても学ぶこともでき、多様な視点から自分自身の視野を広げ見識を深められます。

Career support

進路／キャリアサポート

知識情報にかかわる広大な世界に触れる中で専門知識と技術を修得し、自らの可能性を広げてください。
新たな可能性の発見は、自分にマッチしたフィールドにつながります。

卒業生の主な進路

進学
20～30%

筑波大学大学院：人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム、理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム、グローバル教育院（一貫制博士課程）

他大学大学院：広島大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、立命館大学大学院

就職
［一般企業］
50～60%

●マスコミ・出版：日本放送協会（NHK）、朝日新聞社、テレビ東京、西日本新聞社、紀伊國屋書店、丸善雄松堂、くまざわ書店、パピレス、読売広告社、DNPメディア・アート、DMM.com

●情報・通信：NTTドコモ、NTTデータ、NTTコミュニケーションズ、KDDI、ヤフー、ソフトバンク、日本電気、富士通、富士通ゼネラル、富士ゼロックス、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー、日立製作所、京セラコミュニケーションシステム、サイバーエージェント、Twitter UK、ナビタイムジャパン、東京エレクトロングループ、TOPPAN、アマゾンジャパン

●コンサル：アクセンチュア、日本総合研究所、大和総研

●商社・流通：楽天、丸紅、内田洋行、トーハン、図書館流通センター（TRC）、ファーストリテイリング、カスミ、ローソン、三越伊勢丹ホールディングス、双日

●運輸・旅行：ANAウイングス、九州旅客鉄道、阪急阪神ホールディングス

●金融・保険：ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、りそな銀行、常陽銀行、八十二銀行、大和証券、日本生命、損保ジャパン日本興亜保険サービス

●サービス：リクルートホールディングス、いすゞインテック、東京ドームホテル、河合塾

●製造販売：トヨタ自動車、豊田自動織機、資生堂、YKK

就職
［公務員］
15～20%

官庁・自治体・図書館・学校等：厚生労働省、東京国税局、国立印刷局、国土交通省、デジタル庁、青森県、岩手県、宮城県、茨城県、神奈川県、島根県、愛媛県、長崎県、北広島市、喜多方市、宇都宮市、坂東市、牛久市、水戸市、つくば市、柏市、市川市、板橋区、武蔵野市、静岡市、藤枝市、沼津市、浜松市、小松島市、福山市、東京都立図書館、香美市立図書館、宇治市立図書館、筑波大学、岩手大学、新潟大学、東京大学、東京学芸大学、横浜国立大学、信州大学、福井大学、京都大学、お茶の水女子大学、東京科学大学、秋田県立大学、筑波大学附属高等学校

SUPPORT 01

キャリア相談室

キャリア相談室は「就職」「進学」に関する相談から、「学生生活を有意義に過ごすためには」「学んだことを将来どのように活かしたいか」など、幅広いテーマで学年問わず利用できます。「就職活動でこんな時どうする？」などのちょっとした疑問を解決するために利用する学生も多くいます。卒業生の進路や就職活動の様子など、学類独自の相談室ならではの情報提供やアドバイスも行っています。

キャリアアドバイザーより

進路選択や就職活動に疑問や悩みはつきものです。そして悩みや疑問に大小はありません。キャリア相談室は「ほっとひと息つけて、就職・進学から学生生活のことまで、気軽に話せる場」を目指しています。学年問わず利用していただいているのも特徴です。学生のみなさんは第三者との対話を通じて自分の考えを整理できたり、これから取り組むことが明確になるようです。知識情報・図書館学類の卒業生は、学類での学びを活かして幅広い分野で活躍しています。あなたの未来の可能性を一緒に考えてみませんか？

キャリアアドバイザー　神村 孝子 先生

SUPPORT 02

進路情報カフェ

進路を決めた４年生をゲストに迎えた進路情報カフェでは、何を基準に進路を考えたか、卒業研究とのバランスをどうとったのかなど、体験談から進路を考える機会となっています。

SUPPORT 03

キャリア支援

就活や進路について少人数で語り合う「ふんわり相談会」など、学生のニーズや学類の特徴に合わせた支援を行っています。

SUPPORT 04

公務員採用試験対策

学類独自の公務員試験準備講座を2004年に開始し、２年の秋から４年の夏にかけて、隔週で教養模擬試験を実施しています。人文・社会・自然科学の知識の習得を支援し、公務員志望者だけでなく、大学院進学や企業志望者も活用しています。

SUPPORT 05

進学支援

学類生の学びの視野が広がるように、１年次必修科目の「ファーストイヤーセミナー」と「アカデミックスキルズ」、３年次必修科目の主専攻実習等を通じて、大学院進学、海外留学、英語力の育成等の情報を随時提供しています。

Graduates' interview

卒業生インタビュー

幅広い分野の授業で見える世界が広がり そこから自分の興味関心分野を見つけられる

依田 実波 Minami Yoda

知識科学主専攻（2021年度卒） 茨城県立竹園高等学校出身
NHKメディア総局デジタルセンター勤務

本学類では知識科学と情報技術の両方を学べる点が、メディア業界を志望していた私にとって最適な選択肢でした。所属した知識情報システムの研究室では、課題解決システムを自分で考える力がつきました。現在はインターネットサービスの標準化開発・運用やサービス展開まで多岐にわたる業務に携わっており、複数のプロジェクトを経験し、チームで開発を進めるにあたっては研究室での経験や知識が大いに役立っています。また、先輩からの紹介で「作文ゼミ」にも参加。学類をまたいで同じ業界出身の先生や先輩の話を聞くことで進路を明確にできました。ここで学ぶ皆さんにも、人生のベースとなる経験が得られると思います。

文理が融合した教育環境は 「学びたい」を叶えてくれる

稲福 和史 Kazufumi Inafuku

知識情報システム主専攻（2017年度卒）沖縄県立那覇国際高等学校出身
株式会社リクルート勤務

幼少期から典型的な本の虫だった私がKLiS※を選んだのは必然かも知れません。特に魅力を感じたのは、図書館情報学を扱う唯一の国立大学でありながら哲学や数学、芸術なども分野横断的に学べ、幅広い知識と教養を身につけられる点です。私は、研究に携われる講義「知的探求の世界」をきっかけに博士後期課程への進学を決心し、自らの専門性を深めていきました。2・3年生という早い段階からの積み重ねで得た研究実績は、インターンシップや就職活動においても大きなアピールポイントになったと思います。長い学生生活で日々移り変わる興味を与えてくれるKLiSは、私に文理融合の学びと研究活動の楽しさを教えてくれました。

※KLiS：知識情報・図書館学類の略称

興味に応じて選択肢を広げられ、学びを横断的に活かす仕事に

堀川 真理恵 Marie Horikawa

情報資源経営主専攻（2017年度卒）　福井県立藤島高等学校出身
つくば市役所　広報戦略課勤務

高校生のときに国立国会図書館を見学したのですが、利用者視点だけでなく、社会全体として見たときの図書館の持つ役割をあらためて考え直すきっかけになりました。図書館司書になろうと本学類に入りましたが、学生時代は図書館情報学をはじめ、プログラミング、統計学、文化人類学、著作権法……と興味が広がり、結果的に市役所志望に。就職に際しては、公務員試験準備講座や附属図書館の教材にも助けられました。現在はつくば市役所市長公室広報戦略課で、ホームページやSNSなどを通じて市の情報や魅力を発信する仕事をしています。様々な場面で、大学で学んだ知識が仕事に活かされていることを実感しています。

図書館情報学橘会について

図書館情報学橘会は、筑波大学情報学群知識情報・図書館学類及びその前身諸学校（筑波大学図書館情報専門学群、図書館情報大学、図書館短期大学）の同窓会として活動をしています。図書館情報学橘会の現在の会員状況は、1370名（2024年）です。

知識情報・図書館学類の前身諸学校及び沿革について

知識情報・図書館学類の前身となる文部省図書館員教習所は1921年に開設されました。以後、文部省図書館講習所、国立図書館附属図書館職員養成所、文部省図書館職員養成所、図書館短期大学、図書館情報大学と変遷し、さらに筑波大学図書館情報専門学群として統合、その後の改編を経て現在に至っています。

これまでの活動

図書館情報学橘会では、定期総会開催時や筑波大学ホームカミングデー開催時に、卒業生や図書館関係者、大学関係者等による講演会などを企画し、卒業生間の交流の場を設けています。東日本大震災の1年後には、「一絆―図書館と震災を語り継ぐ」を開催し、現地での図書館活動の様子を話していただく場を設けました。

【図書館情報学橘会】 https://tachibana-kai.com/web/

2004年3月に橘会から寄贈された橘の記念樹

KLiS卒業生メーリングリストについて

学類では2021年に「創設100周年記念事業」の一環として、教員・卒業生同士の情報交換と親睦のために、筑波大学情報学群知識情報・図書館学類卒業生メーリングリスト「KLiS卒業生ML」をスタートさせました。メーリングリストには知識情報・図書館学類担当教職員及び卒業生、前身諸学校教職員及び卒業生が参加され、交流を深めています。

Admission information

入試情報

知識情報・図書館学類の入試には、推薦入試、後期日程、AC入試のほか、海外・国際的な教育を受けた人向けの外国学校経験者特別入試および国際バカロレア特別入試、高専や短大、大学等からの編入が可能な3年次編入があります。また、総合選抜（前期日程）を受験して総合学域群で1年間学び、その後に知識情報・図書館学類へ移行することも可能です。

入試の種類	募集人員	選抜方法／概要とポイント	スケジュール
推薦入試	40名	**小論文と面接・口述試験に基づく選抜** 小論文では、論理的に考え、それをきちんと表現できるかが重要です。面接・口述試験（ビブリオバトル）では、本を推薦する説得力、他の人の発表に対する質問力、的確な回答力がポイントです。なお、令和8年度（2026年度）入試より推薦要件の一部を改訂します（次ページ）。	9月上旬：募集要項公表 11月上旬：出願受付 11月下旬：入学試験
個別学力検査等（後期日程）	10名	**大学入学共通テストと小論文に基づく選抜** 共通テストでは、理科と地歴公民の配点を2つのパターンから選べます。小論文では、広い視野からの発想に加えて論理的思考力や表現力がポイントになります。	10月下旬：募集要項公表 1月中旬：共通テスト 1月下旬：出願受付 3月中旬：入学試験
AC入試	5名	**自己推薦書と面接・口述試験に基づく選抜** 自分で見つけた課題に自ら取り組み、その成果を自己推薦書として提出します。未知の課題を発見し、解決する能力をどれだけアピールできるかがポイントです。	6月下旬：募集要項公表 9月上旬：出願受付 9月下旬：第1次選考結果発表 10月上中旬：入学試験
外国学校経験者特別入試※1	5名	**英語資格・検定試験（TOEFL等）のスコア、小論文、面接・口述試験による選抜** 小論文では、日本語で論理的に表現できるかがポイントです。面接・口述試験には、知識と情報について学びたいという意欲をもって臨むことが大切です。	6月中旬：募集要項公表 10月上旬：出願受付 11月下旬：入学試験
国際バカロレア特別入試	若干名	**提出書類と面接・口述試験による選抜** 主体的に学ぶ意欲のアピールと論理的思考力やコミュニケーション能力がポイントになります。	6月下旬：募集要項公表 10月上旬：出願受付 10月下旬：第1次選考結果発表 11月下旬：入学試験
3年次編入	10名	**提出書類と面接・口述試験による選抜** これまでの学習内容と入学後に学びたいことを学習計画書として提出します。入学後にどのような知識や技術を身につけたいのかきちんと説明できるかがポイントです。	4月中旬：募集要項公表 6月上旬：出願受付 7月中旬：入学試験
総合選抜（前期日程）	40名※2	**大学入学共通テストと個別学力検査に基づく選抜** 文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲのいずれかの区分で受験し、1年次は総合学域群に所属、その後に学類・専門学群に移行します。知識情報・図書館学類では、筑波大学で最多の40名を受け入れています。	10月下旬：募集要項公表 1月中旬：共通テスト 1月下旬：出願受付 2月下旬：入学試験

※1 日本留学試験の成績は提出不要です。留学生の方に加えて、日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学し、日本の中学校最終学年と高等学校にあたる期間に海外で2年以上継続して学んだ帰国生の方も受験できます。
※2 知識情報・図書館学類の2年次受入定員

大学説明会／オープンキャンパス情報

4月	3年次編入説明会
6～8月	推薦入試オンライン説明会（2回開催）
	外国学校経験者特別入試オンライン説明会（2回開催）
7～8月	筑波大学オープンキャンパス
3月	春の進学説明会

令和9年度（2027年度）入試の変更について

知識情報・図書館学類では、令和9年度（2027年度）入試より後期日程の募集停止および前期日程の募集開始等を予定しています。前期日程の概要は以下の通りです。

■ 共通テスト（1000点）
本学類が現在実施している後期日程と同様の科目・配点

■ 個別学力検査等（700点）
英語（300点）および個別面接（400点）

個別面接では、本学類で学びたいことをA4 1枚で事前に提出し、それを用いて質疑を行う予定です。募集人員について、前期日程は16名、外国学校経験者特別入試は7名、推薦入試は32名となります。詳細は、筑波大学入試情報サイトや本学類Webサイトに掲載するほか、大学説明会／オープンキャンパスでも説明します。

入試に関する詳細は、必ず「入学者選抜要項」および「学生募集要項」を参照してください。
問合せ先：筑波大学教育推進部入試課 TEL：029-853-6007　筑波大学入試情報サイト https://ac.tsukuba.ac.jp/

Entrance examination by school recommendation

推薦入試（ビブリオバトル）

推薦入試の面接･口述試験はビブリオバトル方式です。ビブリオバトルとは､｢人を通して本を知る。本を通して人を知る｣をキャッチコピーとして全国に広がっている本の紹介コミュニケーションゲームのことです。本を推薦する説得力や表現力に加えて、質問力、質問に対する回答力などの能力を多面的に評価します。
一般的な面接では、どんな話題で議論するか事前に知らされないことが多く、話題によっては実力を発揮できないこともあります。一方、ビブリオバトル方式では、自分の選んだ本で試験に臨み、その本についての紹介やディスカッションができることが一般的な面接との大きな違いです。

出願資格と推薦要件は以下の通りです。令和８年度（2026年度）入試より推薦要件（2）を改訂し、探究学習などの校内活動も広く対象としました。

出願資格

既卒者も出願可能です。出身学校長の推薦が必要です。

推薦要件

下記のいずれかに該当する者とし、１校で推薦し得る人数は制限しません。

（1）調査書の学習成績全体の平均評定値が４.０以上の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
（2）知識、情報、図書館等に関する学校内外での研究や活動（探究学習、自主研究、部活動、社会活動等）において優れた実績を有する者（実績を証明する客観的資料があれば添付のこと。）
（3）高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

Q&A

Q: 使用する本の種類や制限を知りたい。
A: 公序良俗に反する本や紹介でないかぎり、どのような本でもかまいません。文学作品が比較的多いようですが、ライトノベルやハウツー本が使われたこともあります。電子書籍も可です。

Q: どのような点を評価しますか。
A: 本を紹介する時の説得力や表現力、ディスカッションにおける質問力や質問に対する回答力などを多面的に評価します。

Q: ビブリオバトルの実演を見たいのですが。
A: ７～８月のオープンキャンパスで推薦入試経験者による模擬ビブリオバトル等を行う予定です。ぜひご覧ください。

Q: 推薦入試の説明会はありますか。
A: 受験をお考えの方や迷っておられる方は、７～８月のオープンキャンパスにぜひご参加ください。模擬ビブリオバトルのほか、個別相談会で個別に質問･相談が可能です。また、進路指導ご担当の先生に向けて、オンライン説明会を６～８月にかけて２回開催予定です。

STEP 00：試験当日までの準備

自分が面白いと思った本を選び、他の参加者にその本に対する興味を持たせるよう５分間の紹介を考え、発表を準備してください。

STEP 01：入室まで

面接のグループ（5人前後）と面接順序は試験当日に掲示します。試験時間になったら、グループ毎に試験室に入室します。

STEP 02：本の紹介とディスカッション

全員でＡとＢを繰り返します。司会は面接員が行います。
Ａ）本を５分間で紹介します。紹介する本以外の資料は提示できません。
Ｂ）受験生同士で２～３分ディスカッション（質疑応答）をします。

STEP 03：投票～試験終了

「どの本が一番読みたくなったか？」という投票を行い、チャンプ本を決めます。試験室から退室し試験終了となります。
※チャンプ本に選ばれることと面接の評価は無関係です。

アクセス
Access

周辺マップ
Map

知識情報・図書館学類
College of Knowledge and Library Sciences

［お問い合わせ］筑波大学 図書館情報エリア支援室
〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2
TEL. 029-859-1110 FAX. 029-859-1162
https://klis.tsukuba.ac.jp/
klis-info@inf.tsukuba.ac.jp

2025年3月発行